

保健委員会だより冬号



徳島県立那賀高等学校 保健委員会

日中との温度差が大きくなり、朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。気温が下がると空気が乾燥し冬に多い感染症にかかりやすくなります。咳やのどの痛み、頭痛や発熱といった体調の変化に気がついたら、早めに休んで病院にかかりましょう。

学校環境衛生検査を知っていますか？

みなさんは、年4回程行われている学校環境衛生検査を知っていますか？先日、学校薬剤師 小延先生が来校され空気中のCO₂濃度や浮遊粉じん検査、研修館と若鮎寮の調理場の衛生検査をしてくださいました。この検査は、学校生活が快適に送ることのできる環境かどうかを調べる検査です。

換気をせずに授業を続けると、空気中のCO₂濃度が上昇します。
授業の前後で必ず換気をしましょう。

この日は、調理場の衛生検査も実施しました。その他、教室の照度や空気中の化学物質検査、水道水の水質検査も実施しています。

換気は…

- ①教室の窓を**2方向以上開けて、しっかりと風を通して**ください。
- ②授業の始まりと終わりに**5分程度**開けましょう。



これは、浮遊粉じん検査の機械です。浮遊粉じんとは空気中のほこりのことで、5分間程で空気中のほこりの量を測定することができます。

感染症予防には、**こまめな手洗い・うがい**、**マスクの着用**が有効です。特に寒い冬は、流水が冷たくて、簡単に手洗いを済ませてしまいがちです。しかし、手洗いを簡単に済ませてしまうと、手に付着した汚れが十分に落ちずに、体調を崩す原因となる可能性があります。**手は丁寧に洗い、常に清潔な状態で過ごすように**心がけましょう。